

令和6年度 第5回 大和市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日時 令和7年3月13日(木) 午後1時30分から

場所 大和市保健福祉センター 1階 ホール

出席者 委員 6名、事務局 12名、傍聴者 0名

内容

■第5回 大和市地域包括支援センター運営協議会

1. 開会

2. 内容

1) 報告

(1) 地域包括支援センター職員配置について

2) 議事

(1) 介護予防支援の委託について

(2) 令和6年度 大和市地域包括支援センター事業評価について

(3) 令和7年度 大和市地域包括支援センター運営方針及び 運営方針に基づく
地域包括支援センター事業(案)について

3) その他

(1) 令和7年度 大和市地域包括支援センター運営協議会 年間開催計画について

3. 閉会

配布資料

資料1 地域包括支援センター職員配置について

資料2 介護予防支援の委託について

資料3-1, 3-2, 3-3 令和6年度大和市地域包括支援センター事業評価について

資料4-1, 4-2, 4-3 令和7年度大和市地域包括支援センター運営方針及び運営方針に基づく
地域包括支援センター事業(案)について

資料5 令和7年度大和市地域包括支援センター運営協議会 年間開催計画

議事の経過

■第5回 大和市地域包括支援センター運営協議会

1. 開会

- ・事務局より、大和市地域包括支援センター運営協議会規則第6条第2項の規定に基づき、出席者が過半数に達しているため、会議成立の旨を報告
- ・会長挨拶
- ・会長司会により、次第に沿って進行

2. 内容

1) 報告

(1) 地域包括支援センター職員配置について

資料1に基づき事務局から説明

<質疑応答>

なし

報告事項について、委員全員一致により了承とする

2) 議事

(1) 介護予防支援の委託について

資料2に基づき事務局から説明

<質疑応答>

なし

議事(1)について、委員全員一致により承認とする

(2) 令和6年度 大和市地域包括支援センター事業評価について

資料3-1, 3-2, 3-3に基づき事務局から説明

<質疑応答>

なし

議事(2)について、委員全員一致により了承とする

(3) 令和7年度 大和市地域包括支援センター運営方針及び 運営方針に基づく

地域包括支援センター事業(案)について

<質疑応答>

委員：はいかい高齢者等 SOS ネットワーク事業の登録は何を登録するのか、明快にお答えいただきたい。

事務局：この SOS ネットワーク事業の登録に関してですが、こちらは既に保護された経験がある方や、あるいは保護される可能性のある方を登録させていただいております。登録内容は、名前、住所、病歴、服薬状況、これまでの保護歴、普段よくする格好、身長、体重、それからお写真を1枚いただいて登録しています。この登録の用紙を市役所、管轄の地域包括支援センター、大和警察の三者で共有をしています。

委員：はいかい高齢者等 SOS ネットワーク事業の名称についてですが、今ははいかいという言葉は使わないということになっていて、名称の変更等のご予定を知りたいと思います。

事務局：国の方針として、はいかいという言葉をしてできるだけ使わない方向性については承知しております。当市におきましても、通常の事業説明として改まった場での報告はこのような名称を使わせていただいておりますが、通常市民に向けてお話するときについてはSOSネットワークの愛称名で周知しております。別のふさわしい言葉が、どの市町村も見つかっていないという現状もあり、引き続き検討中です。

委員：確かにははいかいに代わる言葉は難しいと思いますが早急に検討されることを望みます。

委員：地域包括支援センター事業評価は毎年拝見すると、ほとんどの項目は〇であって、減多にならない×が対象者がいないとか、実施例がないとかで全く無意味なのではないかということと、次に今までの評価に基づいて新たな事業計画をするならば、翌年度は具体的に何ができたのかできなかったのか、それが結果としていいことだったのか悪いことだったのかPDCAサイクルを踏まえて表示していただけたらなと考えます。

それからもう一つ認知症サポーターの活動の場に関して具体的に教えていただければと思います。

事務局：まず事業評価について、国の評価の中で対応しなければならず矛盾を感じておりますが、委員のご意見は、国からの照会等のタイミングでお伝えしていきたいと思っております。また事業評価についてPDCAサイクルを活用していくご意見がございますが分量が多く、運営方針と合わせてですと、わかりづらい所もありますが、今後の説明の際に事業評価を活用してまいりたいと考えております。

事務局：認知症サポーターを受講した方は、地域で認知症の方を温かく見守る応援者という位置づけになっており、基本的には特に具体的な活動を期待したものではありません。ただ一方で受講された市民の中には活動したい方がいらっしゃるのも事実です。そういった方々のために市と国が一体として進めている事業がチームオレンジという取り組みで、認知症サポーターの、さらにもう1段階上のステップアップ研修を受けた方々が認知症の方を中心としてメンバーを組みその人の日常生活にある隙間の支援や、その人の楽しみを支えるのがチームオレンジで、大和市では既に市内17チームできています。例えば認知症カフェの運営や、認知症の方との散歩のグループを組み日常生活の潤いや、ご自宅で一緒に花壇を整理したり、認知症の方と一緒に紙芝居を作り普及啓発するという取り組みが生まれています。様々なニーズがある中で今後どのようなマッチングをしていくかという課題はありますが、徐々にチームオレンジの取り組みサポーター活動の輪が広がりつつあり、今後ご期待いただきたいと思います。

事務局：今後の運営方針の中でイメージが付きやすい工夫をしていきたいと思っております。

3) その他

- ・次回開催日時は令和7年5月22日（木）午後を予定しており、決定次第通知します。
- ・議事録については、議事録（案）を作成し、各委員に確認していただいた後に委員名を

削除し、市のホームページに掲載します。

3 閉会

- ・会長より閉会挨拶